合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月: 平成24年8月

1.	対象事業	泉北環境整備施設組合合流式下水道緊急改善事業
2.	実施主体名称	泉北環境整備施設組合
3.	計画期間	平成 17 年度~平成 25 年度
4	対角車業の准批単河	

4. 対象事業の進捗状況

- ・夾雑物除去対策:スクリーン設置済み。
- ・汚濁負荷削減及び公衆衛生上の安全確保(未処理放流回数半減)対策:

平成 21 年度: 圧送管布設工(土木工事)が完了 平成 22 年度: 流域接続工(土木工事)が完了

平成23年度:高速ろ過施設(土木及び機械・電気工事)及び新設雨水滞水池(土木工事)が完了

平成23年度:ポンプ設備工(機械・電気工事)に着手

5. 目標の達成状況と達成の見通し

目標に対する達成状況

区分	平成 17 年度	平成 23 年度末	平成 25 年度末
	(計画当初)	(現状)	(計画期間最終年)
汚濁負荷量の削減	0 %	0 %	1 0 0 %
公衆衛生上の安全確保	0 %	0 %	100%
夾雑物の削減	1 0 0 %	100%	1 0 0 %

・平成 25 年度末にはすべての工事が完了し、平成 26 年度当初から雨水滞水池と高速簡易処理施設の 供用が開始予定であるため、目標に対する達成率は全て 100%となる見込みである。

6. 対象事業の整備効果の発現状況等

・事業完了に伴い、次の改善効果が得られる。

雨天時放流 BOD 負荷量:70.8t ⇒ 29.4t (目標値:37.8t) ※放流負荷量の削減(分流並)

未処理放流回数:69回 ⇒ 18回(目標値:34回)※未処理放流回数の半減

放流水質 (BOD): 70.4mg/ℓ ⇒ 39.9 mg/ℓ (目標値: 40mg/ℓ) ※放流水質基準への対応

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

- ・事業団委託により、計画的な建設及び早期完成に取り組んでいる。
- ・新技術の採用 (SPIRIT21 の開発技術の導入) により、建設費及び維持管理費の削減に取り組んでいる。
- ・流域下水道への統合に取り組んでいる。

8. 今後の方針

・平成 26 年度当初から流域下水道へ統合され、合流汚水(1Q) については流域の処理場へ、合流雨水(1Qを超えるもの) については雨水耐水池と高速簡易処理を導入し、大阪湾へ放流されることとなる。